

# らい 来ぶらり

図書館へ気軽にぶらりと来館していただきたいという思いで命名しました。

図書館を英語で「Library(ライブラリー)」といいます。

No. 93 6月号

2013年6月1日 発行

たつの市立図書館

龍野図書館 TEL(0791)62-0469

新宮図書館 TEL(0791)75-3332

揖保川図書館 TEL(0791)72-7666

御津図書館 TEL(079)322-1007

URL <http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/>



携帯専用サイトへは、  
左のQRコードから  
(URL:<http://tatsulib.city.tatsuno.hyogo.jp/m/>)

## 読書と私 No.85

### 「私と図書館」

姫路市 鎌下 真由美



たつの市から姫路市に転居して数か月が経ちましたが、夫婦ふたりとも職場が龍野図書館に近いこともあり、今もお世話になっています。

図書館は私達にとって定番のデートコースでした。放課後の待ち合わせ場所でもあり、卒論作成の資料庫でもありました。結婚して10年以上が経った今では、週末の午後をのんびり過ごせる第二のリビングのような空間です。別々の場所で本を探したり読書したり、思い思い

に過ごしながらも、お互いの気配を感じて、くつろぐことができます。

ウィンドウショッピングには渋い顔をする夫も、図書館のハシゴには快く付き合ってくれます。お目当ての本を求めて走る揖保川沿いの道は、格好のドライブコースです。四季折々、「桜が満開だね」「鮎釣りしているね」などと会話も弾みます。

図書館に着くと、まず新刊本コーナーをじっくりと観察します。好きな作家さんの本が並んでいると嬉しくなります。その次はお勧め本コーナーです。ここは各館によって傾向が違うので、図書館巡りの大きな楽しみです。ふと目に留まって読んでみたらとても面白くて読書の幅が広がった、ということが何度もあります。読んだことの無いジャンルの本を探検することは学び知る喜びに繋がります。

いくつになっても、どこに住んでいても、そこに図書館さえあれば、新しい知識へ誘<sup>いざな</sup>う本棚があります。束の間、日常生活を忘れ、恋人気分・学生気分を味わえる、この素敵な空間が私は大好きです。お婆さんになっても、夫とふたり仲良く通い続けたい場所です。

※『読書と私』は図書館の利用者に執筆していただいています。

『病を癒す希望の力 医療現場で見えてきた「希望」の驚くべき治癒力』

ジェローム・グループマン著 草思社



生身の肉体を持つ人間にとって、病気は誰にでも起こりうるものである。治療は医師によって行われるが、闘病に際しては、患者の感情や精神状態を抜きには語れない。なぜなら私達には心がある

からだ。絶望的な状況にありながらも希望を持ち続け、奇跡的な治癒を果たした人達。そこには何が起こっていたのだろうか。

本書は癌の専門医である著者が、30年にわたる自らの臨床体験と最先端の科学的データに基づいて、「希望」と「治癒力」との関係性を考察したものである。

死の淵をさまようダン・コンラッド。彼はリンパ腫による痛みによって恐怖や不安が増大され、自分は死ぬに違いないと絶望していた。彼を救う

きっかけは、治療の開始により、体が楽になったことで芽生えた“治るという希望”だった。脳はこの時、死ではなく生存するというシグナルを発生し、身体的な変化を及ぼした、と綴られている。

他にも、病気は神の罰だと思ひこむ女性患者、胃癌治療の権威でありながら末期の胃癌にかかり、壮絶な闘いの末に勝利した医師などが紹介される。

本書の語り口は臨場感にあふれ、読者は、生死の岐路に立たされた患者と医師の医療現場での体験を、自分もその場にいるかのごとく感じる。特筆すべきはこの本が、根拠のない精神論ではなく科学的に述べられているという点だ。

希望とは何なのか、どうやって形作られるのかを定義するのは難しい。だが、まぎれもなく希望は病気の回復に貢献する、という事実が持つ意味は大きい。「極限状態において希望を抱くのは、自分なりに人生を生きることを可能にする果敢な挑戦である。耐え忍んで、奇跡が起こるチャンスを与えるのは、人間の精神の一部なのだ」と語る著者の言葉が強く胸に残る。(揖保川図書館 岡村)

トピックス

✿ 図書館からのお願い ✿

図書館は誰でも利用できる公共施設です。気持ちよく利用していただくためにマナーを守りましょう。

□資料を汚す 書き込む

資料はみんなのものです。飲食をしながらの読書は汚れたり、ぬれたりする場合がありますのでご注意ください。またページ折りにもご注意ください。

□大きな声や音をだす

たくさんの方が資料を読んだり、調べものをしていきます。静かな環境を保ちましょう。

□携帯電話の使用 写真撮影

電源を切るかマナーモードに設定し、通話はお控えください。資料の撮影はご注意ください。

7月前半の行事

夏休みの自由研究の

ヒントを見つけてみよう!

日時: 7月7日(日) 午後2時から

場所: 龍野図書館 2階研修室

対象: 小学生の親子

定員: 20組 (要申込・先着順)

6月15日(土) より受付

講師: 上田倫範氏

(前姫路科学館館長)



## おすすめする子どもの本・86

### 『ふしぎな500のぼうし』 ドクター＝スース作・絵 偕成社

町へ出かけたバーソロミューが門に着くと「みちを あけい!」「ぼうしをとれえ!」という叫び声がしました。デイド王国のダーウィン王様がお通りになるのです。驚いたことに馬車はバーソロミューの前でぴたりと止まり、王様が「今すぐ帽子をとれ。」と命じました。確かに帽子を取ったはずとバーソロミューが頭に手を伸ばすと帽子がのっています。何度とっても次の帽子が頭にのったままです。とうとう王様の怒りにふれ、バーソロミューは城に連れていかれました。

王様は何とか帽子を脱がせようと帽子の専門家や博士、弓名人、魔法使い達を呼びますが、

誰も帽子を取ることができません。ついには一番高い塔から突き落とそうと塔を登って行きます。バーソロミューが脱いだ帽子はなんと…4…5…6…7…448…449…450…。450個目を越えた頃から帽子は取るたびに立派になり、塔の一番上に着いた時には王様の冠でさえみすぼらしく見える程になっていました。ちょうど500個目のその帽子を取ると、バーソロミューの頭から帽子がなくなっていて、王様は金貨500枚でその帽子を買い取りました。

白黒の絵に赤色の帽子がとても印象的です。バーソロミューがどうなるのかとハラハラドキドキしますが、最後の結末では誰もが満足感と安心感を得ることができます。読んでもらえば五歳から。

(龍野図書館 藤本)

### 『イギリスとアイルランドの昔話』

### 石井 桃子編・訳 福音館書店

昔あるところに、おかみさんと娘が住んでいました。ある日、おかみさんが、娘がパイを五つも食べてしまったことを歌っていると、王様を通りました。そのまま聞かせるのが恥ずかしかったおかみさんは、「うちのむすめはよ 糸<sup>いと</sup>五<sup>い</sup>かせつむいだ きょう 五<sup>い</sup>かせつむいだ」と歌いました。王様は、そんなことのできる娘なら、と娘を妻にしました。できなければ首は飛ぶ、と言われ娘が泣いていると、黒い小鬼が現れ、糸を紡いでやろうと言いました。その代わりに、<sup>ひとつき</sup>一月の間に自分の名前を当てなければ、お前はわしのものだと言うのです。当てることのできないまま迎えた最後の夜、王様が森で小鬼の歌っていた歌を聞かせてくれました。その歌で名前を知った娘は小鬼に向かって「なんと なんと 名まえはなんと。おまえの名まえはトム・ティット・トット!」と、歌いました。(「トム・ティット・トット」)

その他、かまどからコロコロ逃げ出したパンの話「かたやきパン」や、怪力男が自分よりも大きな敵を女房の知恵の助けで打ち負かす「大男フィン・マカウル」等、百姓やお姫様と共に、妖精や小鬼が身近な存在として登場する物語が、語り継がれ磨き上げられた言葉で綴られています。読んであげるなら六歳くらいから。自分で読むなら二年生くらいから。(新宮図書館 梅村)



# 各館の行事予定

※詳細は各館へお問い合わせください。

館名	行事	対象(上段) ・ 時間(下段)	6月の予定
龍野図書館 TEL(0791) 62-0469	●えほんのじかん	0～3歳児、保護者 第2・第3土曜日(11時～11時20分)	8日・15日 『かさ さしてあげるね』他
	●子どもの本を読む会	一般 第2木曜日(10時～11時30分)	13日 『鉄道きょうだい』 E. ネズビット著
	読書会	一般 第2金曜日(10時～11時30分)	14日 『僕たちのミシシッピ・リバー』より 「ささのはさらさら」 重松 清 著
新宮図書館 TEL(0791) 75-3332	●えほんのじかん	2～4歳児、保護者 第2・第4月曜日(11時～11時20分)	10日・24日 『はっばのおうち』他
	■おはなしのじかん	5歳児～ 土曜日(11時～11時30分)	1日・8日・15日・22日・29日 「小なべどん」他
	ワークショップ「ねん土だんごでやさいをつくろう！」 【対象】小人(小学3年生～)20名・大人20名(要申込)※先着順 【日時】29日(土)11時～14時 ねん土だんご作り・昼食(弁当・水筒持参)・絵本の読み聞かせ・ねん土だんごについてのお話 【場所】新宮図書館 ※ 大人は午前の実習は見学になります。		
揖保川図書館 TEL(0791) 72-7666	●えほんのじかん	3～5歳児、保護者 第2・第3土曜日(10時30分～10時50分)	8日・15日 『ぼくたちこいぬ』他
	■おはなしのじかん	小学生以上 第2・第3土曜日(11時～11時30分)	8日・15日 「赤ずきん」他
	読書会	一般 第3金曜日(10時～12時)	21日 『松浦静山 夜話語り』 童門 冬二 著
御津図書館 TEL(079) 322-1007	●えほんのじかん	0歳児～、保護者 第2・第3日曜日(11時～11時20分)	9日・16日 『三びきのやぎのがらがらどん』他
	読書会	一般 第1火曜日(13時30分～15時30分)	4日 『天使の卵(エンジェルズ・エッグ)』 村山 由佳 著